

# おいちしょう

# 大一小スタンダード 《生活》

せいかつ

## とうげこうじ 【登下校時】

- ・校帽をかぶる。
- ・元気にあいさつをする。
- ・決められた通学路を通る（校庭の犬走りを歩く）。登校時刻（8：00～8：10）を守る。
- ・登校後には、忘れ物を取りに家に帰らない。
- ・通学路は広がって歩かない。白線内を1，2列で歩く。

## ちょうかいじ 【朝会時】

- ・開始時刻（8：20）前に整列をする。（遅れた時は列の最後に並ぶ。）
- ・整列後に登校した時は、荷物を玄関（靴箱）に置き参加する。
- ・6年生は朝のあいさつをする。話の聞き方は、体を舞台に向け、休めの姿勢で聞く。  
（舞台の先生に合わせて「礼」をする。「お話をします。」と言ったら「休め」の姿勢をする。5，6年生は、体の向きを内側にする。）
- ・朝会後は、音楽に合わせて足踏み・行進をする。

## せいかつじ 【生活時】

- ・チャイムの合図を守る。
- ・ろう下や階段は右側を静かに歩く。
- ・1年生は、学校で名札をつけて生活する。下校時は外して帰る。（名札収納袋にそろえて入れる。）
- ・校内の先生方や来校者に対して、元気にあいさつや会釈をする。
- ・くつは、きちんと決められたくつ箱に入れる。（かかとはふまない。）
- ・くつ箱には、つま先を中に入れかかとを端にそろえる。
- ・上ばきの貸し出しは職員室前のノートに記入する。洗濯後返却する。（担任の先生に報告する。）
- ・週末には、体育着・上ばきを持ち帰り、洗濯を行う。
- ・かさは、きれいにたばねて留め金をかけて、かさ立てにしまう。
- ・かさ立てに置きがさがないようにする。（教室に折りたたみがさを置くのはよい。）
- ・下校時刻までに下校する。残る必要がある場合は担任の先生の許可を得て残る。
- ・水道は、使用後じゃ口を下向きにする。
- ・登校後は、コート・ジャンパー、マフラー・手袋・耳当て等はランドセルやロッカーに入れる。
- ・ぬいだ上着を体に巻いて活動しない。
- ・体育の学習時に、タイツ・ストッキング等ははかない。
- ・教室を移動して学習するときは防災頭巾を持っていく。
- ・ランドセルの横のフックから物をぶらさげない。（お守りやランチョンマットは、ランドセルにしまう形で可とする。）
- ・コート・ジャンパー、マフラー・手袋・耳当て等は、朝会、集会、運動遊び昼休みの時間は着用しない。  
（特に寒い日などは、着てよいことを放送で伝える。）

## やす じ かん 【休み時間】

- ・運動遊びの時間は、校庭で遊ぶ。
- ・図書室・体育館では遊ばない。(体育館は雨の日に割り当てられた学年は遊んでよい。)
- ・トイレ・水飲み場では遊ばない。
- ・ボールけり遊びは、昼休みに、プール側のゴールの周りです。
- ・校舎の裏や体育館の周りでは遊ばない。

## せいそう じ 【清掃時】

- ・たてわり清掃は、班で協力して行う。
- ・流しにある石けんで、雑巾・絵の具セット等を洗わない。  
(習字のすみは、紙でふき取り、流しには流さない。筆は家で洗い、流しでは洗わない。ふき取った紙は、持ち帰る。)

## しょくいんしつ にゆうしつ 【職員室への入室について】

- ・失礼します。〇年〇組の〇〇です。(名前を言う。) 〇〇を借りに来ました。(返しにきました。)(用件を伝える。)  
「ありがとうございました。失礼します。」

## ほうか ごなど 【放課後等】

- ・忘れ物は取りに来ない。どうしても必要な時はお家の人と教室まで一緒に来る。
- ・自転車は交通ルールを守って乗る。低学年はなるべくお家の人と一緒に乗る。
- ・公園などではマナーを守って遊ぶ。エアガンでは遊ばない。
- ・出かける時には、防犯ブザーを持つ。
- ・デパート・スーパー・映画館・おもちゃや・ゲームセンターなどには子供だけではないかない。
- ・夏休みに学校に登校する時も、校帽、くつを着用する。

# 大一小スタンダード

# 《学習》

項目		イメージ	低学年（基本形）	中学年	高学年
授業前	準備		<ul style="list-style-type: none"> <li>●チャイム着席で待つ。</li> <li>●ノートの上に教科書、筆箱をのせて待つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●すぐに学習できるよう、ノート・教科書を開いて待つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●復習や予習をして待つ。</li> </ul>
	開始		<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業開始・授業終了後</li> <li>①姿勢を正す。</li> <li>②先生に注目して、適切な挨拶をする。</li> </ul>		
	座り方		<p>「ピン・ピタ・グー」 (背筋を伸ばして、よい姿勢)</p>	<p>★背筋はピン！ ★足の裏は床にピタ！</p> <p>★おなかと机の間はグーをひとつ分あける。</p> <p>○うわばきをきちんと履いて座る。</p> <p>○手は、ひざの上にそろえて置く。</p> <p>○両足は机の下に入れ、床に付ける。</p>	
授業中	ノートの使い方		<ul style="list-style-type: none"> <li>●指定されたノートを使う。</li> <li>●日付を書く。</li> <li>●正しい鉛筆の持ち方で書く。</li> <li>●下敷きを敷いて書く。</li> <li>●定規を使って線を引く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科に応じて学習のめあて等を書く。</li> <li>●字の大きさや書く場所を考えて、見やすく丁寧に書く。</li> <li>●大事だと思ったことは自分で書き足す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●板書以外にも、自分の考え等を書く。</li> <li>●枠を付けたり、マーカーを使ったり、工夫して見やすくまとめる。</li> </ul>
	発言の仕方・話し方		<p>話し方名人</p> <p>あいてを見て いつしよげんめい うんと口をあけて えがおで おわりまで話す</p>	<p>話し方名人</p> <p>あいてを見て いいたいことが 伝わるように うまく間をあけて えがおで おわりまで話す</p>	<p>話し方名人</p> <p>あいてを見て いとを明確に うなずくように えがおで おわりまで話す</p>
	話の聞き方		<p>聞き方名人</p> <p>あいてを見て いつしよげんめい うなずきながら えがおで おわりまで聞く</p>	<p>聞き方名人</p> <p>あいてを見て いいたいことを 考えて うなずきながら えがおで おわりまで聞く</p>	<p>聞き方名人</p> <p>あいてを見て いとを考えて うなずきながら えがおで おわりまで聞く</p>
家庭で	学習用具準備		<ul style="list-style-type: none"> <li>●家の人に手紙を渡し、連絡帳を見せる。</li> <li>●忘れ物がないよう、前日に準備する。</li> <li>●宿題は、すぐにランドセルに入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●連絡帳(メモ)や時間割を見て、準備する。</li> <li>●筆箱の中身も点検する。</li> </ul>	
	家庭学習		<ul style="list-style-type: none"> <li>●目安の時間：10分以上×学年</li> <li>●毎日、きちんと家庭学習に取り組み、家の人に見てもらおう。</li> <li>・宿題、音読、読書など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分から家庭学習に取り組む。</li> <li>・宿題、復習、音読、意味調べ、漢字、計算など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分で計画を立てて、宿題や自主学習に取り組む。</li> <li>・宿題、復習</li> <li>・調べ学習など</li> </ul>

# 【学習用具：準備と使い方】

※全項目、低学年を基本にして積み重なっていきます。 ➡  
 ※学習に必要なでない物は、持ってきません。  
 ※全ての持ち物に、学年・組・名前を明記します。

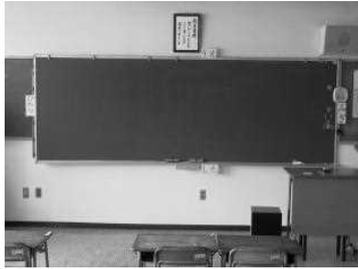
項目	イメージ	低学年（基本形）	中学年	高学年
筆箱の中身		①鉛筆4～6本（Bまたは2B） ・シャープペン、ロケットペンは不可。 ・毎日、家で削ってくる。 ②赤・青鉛筆 ③消しゴム（白いプラスチックのもの） ④定規（10～20cm位で透明なもの） ・丁寧なノート作りに必要。 ・筆算するとき、線を引くのに必要。 ⑤名前ペン（黒の油性ペン、細字・極細が両方 ついているもの） ※筆箱は、できるだけシンプルでかさばらない ものが望ましい。	●HBも可	
机の中		★道具箱を使って、学習用具などを整理する。 お泊まりの箱（左側）→学校に置いておく物 ・のり、はさみ、セロハンテープ、色鉛筆 （低学年は、クレパスも。） お帰りの箱（右側）→毎日持ち帰る物 ・教科書、ノート、ドリル、筆箱、下敷きなど。	●左側の箱→コンパス、 分度器、三角定規を 追加する。	
机の上・横		●授業の前：教科書、ノート、下敷き、筆箱を出し、すぐに使えるように 準備しておく。 ●授業の後：次の授業で使う物と入れ替える。（前の時間に使った教科書 などは一番下に入れる。） ●なわとびは、通路側でない方のフックに掛ける。 ●雑巾は、紐付きの洗濯ばさみを使って、机の脚に巻き付けるようにして とめておく。 ※通路側のフックには、なるべく物を掛けない。（通行や清掃時を考慮して）		
ロッカー・フック		●ランドセルは、留め具側を奥にして入れる。 ●校帽は、ランドセルの中にしまう。 ●絵の具セットなどは、児童数やロッカーの数を 考慮して学年で決める。） ●体育着、音楽袋、うわばき入れは、 廊下のフックにかける。	●習字道具は、必要な ときに持ってくる。 使用後は持ち帰り、 筆を洗っておく。	
靴箱		●くつは、つま先を奥にして、きちんとそろえて入れる。 ●うわばきには2か所に名前を書く。（つま先：学年、組、姓名 かかと：姓のみ）		

## よくわかる授業、学び合える授業づくりのための工夫

ポイント	ポイントの内容	ポイントの具体例・配慮点等	
①見通し	○一日の流れを伝える。	・朝、今日の学習や行事の予定を伝える。	
	○一時間の流れを示す	・授業の始めに、学習の順番（流れ）を伝える。	
	○作業や活動時間を示す。	・その作業（活動）が完了する基準をはっきり伝える。 ・時計を見させて、活動時間を意識させる。	
②明確化	○ねらいを明確にする。	・一時間のねらいをはっきりともつ。 ・授業の始めに、めあてを提示する。（板書等）	
	○発問、指示、説明をわかりやすく、簡潔にする。	・主発問はよく吟味し、厳選する。 ・短く端的な言葉で指示する。 ・必要以上に言い直しをしない。	
③視覚化	○視覚的にわかる工夫をする。	・色チョークの使い方を工夫する。 （例）重要事項：黄色、ライン・囲み：赤、青など ・カードや短冊などを効果的に使う。 ・絵や写真、ICT機器を使い、イメージしやすくする。（興味を高める効果も期待できる。）	
	○一時間の学習内容が見てわかるような板書をする。	・板書計画をしっかりと行い、授業の流れがわかる板書をする。 ・効果的な図や絵、資料を提示する。	
④体験的活動	○操作活動や体験的な活動を取り入れる。	・具体物を使って学習する。（算数：タイル等を使って計算する。社会：校庭に実物大の大仏を描き、大きさを実感させる、等。） ・現地学習を行う。	
⑤学び合い	○ペアタイム（2人で）	・自分の考えを確かめ合う。 ・自分の考えに自信をもつ。	○教え合い、学び合いを通して、考えを広げ深める。友達の考えのよさに気づく。 ○学習のねらいや状況に応じて、学び合いの場を使い分ける。
	○グループタイム（3～6人）	・役割を決めて話し合う。 ・全員発言し、参加する。	
	○クラスタイム（学級全体） ※最後には、マイタイム（個々が集中して自分の考えを深める時間）を取り、個に戻す。	・クラス全体で学習活動に取り組む。（話し合い、作品作りディベートなど。） ・多様な考えに触れる。	
⑥学習の流れの構造化	○同一教科の学習の流れを一定にする。	・流れを一定にすることで、学習の見通しをもたせる。 （体育：準備運動→単元の活動→整理運動 理科：課題をつかむ→予想する→調べる（実験・観察）→考える→まとめる、など。）	

## 子どもが落ち着いて授業に集中できるようにするための工夫

### ①前面の掲示



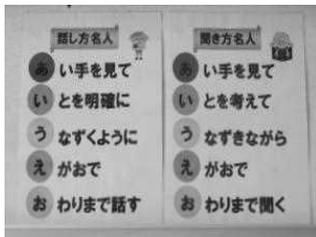
- 黒板や黒板の上には教育目標以外は何も貼らない。(原則)
- 掲示物の掲示物は、常時使う物のみにし、他の掲示物は、側面や後ろの掲示板を活用する。

### ②教卓やテレビ台の上



- できるだけものを置かず、すっきりと。(常時使う物のみを置く。)

### ③側面や後ろの掲示板(1)



- 学習規律の定着を図るもの (声のものさし、ハンドサイン、話し方・聞き方名人、話型など。)
- 全学年共通で掲示するものを決めておくとよい。

### ④側面や後ろの掲示板(2)



- 学力の定着を図るもの(学習内容を整理したもの、新出漢字、地図や年表など。)
- 学習のまとめ(児童の作品)・係活動のコーナー等